

三重国体少年の部準優勝 指導者のみなさん ありがとう 少年サッカーのあゆみ10年・情熱と涙の成果



45年7月御崎少年サッカー場の開場式であいさつする宮崎神戸市長(左端)

去る10月の三重国体で、兵庫県の高校選抜は、優勝候補はおろかダークホースの下馬評もあがらないチームだった。強敵を破って準優勝を果たした力は、フロックや運ばかりでは片付けられない。この兵庫選抜のメンバーを育てた中学、高校の先生方の努力は、もちろん特筆大書しなければならないが、これらの少年にサッカーの手ほどきをして、サッカーの心を植えつけ、成長とともにサッカーのとりこに仕上げた少年指導者の陰の功績を忘れることはできない。

兵庫神戸の少年サッカー10年の歩みを顧みるとき、社会体育として少年育成の組織を作り、神戸市御崎の少年サッカー場の建設を陳情して完成させたのをはじめ、少年サッカーの施設を確保して大会を開催し、指導者人脈の発掘や研修をはかり、普及振興を計画的に進進した先達の尊い姿を思い起こす。

昭和38年12月29日、兵庫サッカー友の会が、007名の会員を集め誕生した。会は五つの夢を掲げたが、その第一が「少年サッカーの普及・少年サッカースクールの開校」であり、最後の夢が「サッカー王国兵庫の再現」だった。

大正から昭和の初期にかけて、御影師範は全盛期を築いた。卒業生が赴任先の小学校で教え、なかでも雲中小学校や御影師範付属小学校のサッカー熱はすばらしかった。雲中と東京油面小学校が定期戦を持った記録もある。また、これらの小学生が中学に進み、レベルを高め、神戸一中(神戸高の前身)の黄金時代も生まれた。戦時中御影師と姫路師範が合併して兵庫師範となってから、小学生のサッカー熱は残念ながら急速に冷めていった。友の会発足当時、少年サッカーはゼロに等しく、わずかに神戸市成徳小学校校区で時計師商を営む林幸男さんが指導する六甲少年蹴球団がただ一つあっただけである。

こんなさびしい空気の中で、昭和40年4月、友の会は神戸少年サッカースクールの発足させた。はじめ生徒は60名余りだったが、4年12月友の会を改組して、日本サッカー界初の法人組織である神戸FCが誕生した。その専従職員である黒田和生、加藤寛の2両人が、神戸FCの少年会を指導するかわり、神戸市さらに兵庫県の少年サッカーの普及振興に貢献している姿を見逃すことはできない。

41年11月、神戸市に初めてサッカースポーツ少年団が13団生まれた。そして年々その数が増え、今年は神戸市70団、兵庫県では200団を越す勢いである。今日まで少年団の育成

に携わってきた指導者の苦勞は筆舌に尽くせぬものがある。身銭を切ってユニホームやボールを買い与え、ある時は家業を犠牲にしてグラウンド探しに走り回り、またある時は家庭サービスを放棄して、チームの引率、試合、練習に一日をつぶす。こんな苦勞の積み重ねが近い将来、必ずや「サッカー王国兵庫」の花を咲かせるにちがいない。三重国体少年選手健闘もそのつばみといってよいだろう。

この10年、真剣に少年サッカーを育ててくれた指導者の皆さんに、拍手を送っていたきたい。

感想 兵庫県選抜チーム主将 岡本 将

死闘を展開した栃木から始まり徳島、三重、埼玉そして決勝の静岡戦にいたるまで、すべてナイスゲームだったと思う。選抜チームだけあって、さすがにどのチームも特長があり、精神面、速さ、技術などとても充実していた。わがチームの勝利の最大の要因は、一言でいえば「落ち着いた中から生まれたファイト」であろう。常に冷静に勝つことだけを信じて自分の力で何かをしようとする無欲の闘志の結果といえる。ゲームの内容は、すべて苦しいの一語に尽きる。その中にも、チームメイトを信頼することで乗り越え、徐々に調子をあげた。シュートの一つひとつが忘れがたい印象として残っている。ただ、雨の中の静岡との試合でゴールを奪うことができず、終了1分前の失点で負けたことは、どうしても悔やまれる。優勝への欲がほしかったと思う。

今回の準優勝は、すばらしい思い出として一生忘れることができないだろう。



観戦随想 林 幸男

3回戦の相手は三重、栃木との激戦の後だけに、選手の大半は傷だらけ。岡本は麻酔薬を注射しており、桜木のひざに張られた大きな白いばん創こうが痛々しい。この試合のために温存してきた林啓太は、開始前からピンポイント飛びはねて元気がいっぱい。

三重はOLの動きはよいが、大きな水まわりがあって思うようにドリブルができず、兵庫のタックルにつぶされる。三重ゴール前の混戦から岡本がブッシュして先制。三重の猛

攻に耐えながら30分過ぎ、兵庫のCKが続く。桜木の頭にあわせてよいボールが上がるが、GKやBKの攻守にはばまれる。右CKを三重がクリアしたが小さく、林啓太の前へこぼれた。獲物をねらうヒョウのごとく啓太の右足が鋭く振られ、ボールはバックの左肩をかすめてゴールネットに突き刺さった。

ハーフタイム、監督の指示に耳を傾ける若々しい選手のえり首の筋肉が、興奮のためかピクピクと震えている。地元の応援を背に受けてファイトを燃やす三重の攻撃は強力で、一瞬も目をそらせないスリルと緊張の連続。その直後、啓太からの大きなパスが、左サイドで待ちかまえていた桜木に渡った。マークする二人を切れ味のよいフェイントではずし、思い切ってシュート。勝負は決まった。

思えば5年前、啓太は常勝北須磨で、また桜木は成徳ですばらしいプレーをみせていた。忘れもしない8月2日には中央球技場で、しかもナイターという夢のような決勝戦が両チームの間で争われた。啓太のロングシュート、桜木のジャンプヘッドなどの名場面は、今でもはっきり目に浮かぶ。それが国体の試合中のプレーとオーバーラップしてくる。

大きくたくましく成長し、代表選手としてりっぱに活躍している両君の姿をみると、自分のことのようにうれしくなり、胸にこみあげてくるものを抑えることができない。

(成徳サッカースポーツ少年団指導者)



今後の課題 一北 四郎

国体高校の部(50年度より少年の部に改められた)で、兵庫県代表が決勝にまでこまを進めたのは初めだそうである。その他の単独チーム参加の大会でも、戦後は決勝進出という記録はありません。

「サッカー王国兵庫」の復活の願いをこめて、関係者が努力を重ねてきました。特に、少年サッカーの育成に力を注いで十余年を経過して、ようやく光明をみだした思いがするのは私だけではなく、多くの皆様もお感じのことでしょう。これを機会に関係者が一丸となって、真のサッカー王国実現に向けてさらに努力しようではありませんか。

そのためには、なすべき仕事もまだまだ多くあります。急増している少年チームの健全な発展とより適切な指導の確立のため、もっと多くの指導者を養成し、研修を深めることもその一つです。すぐれた才能をもった少年を見出し、りっぱに育てることは、指導者の最も大きな使命です。今回の選抜チームで2年生ながらエースとして活躍した神戸高の桜木は、成徳小時代から将来の大成を期待され、小、中、高と一貫して、神戸市内の指導者が見守ってきた選手です。

団体少年の部の中心を占めるは高校生ですが、中学サッカーの大切さも忘れてはなりません。尼崎の大庄北中は49年度全国大会で3位に入賞しましたが、大庄北出身の選手が今回の選抜チームのメンバーとして大活躍しました。中学時代は個人技術の習得とゲーム感覚を養成するうえで、重要な時期です。中学チームも県下に100を越え、その熱意と盛り上がりこそ、今回の快挙の陰の力となったものと高く評価して良いと思います。

今年の国体でも、昨年に劣らない好成績をあげたいものです。そのためには今すぐ、各地の優秀選手の選出と強化に取り組みなければなりません。1、2年生の諸君は「われこそは代表選手になるぞ」という意気込みで、努力していただきたい。



年頭の辞

神戸市協会長 河本 春男



球友の皆様、明けましておめでとうございます。ご家族そろって新年をお迎えのことと衷心よりお祝い申し上げます。

昭和50年度の日本は国際社会の有力な一員として、外交、内政の両面にわたり重大な時局を迎えておりますが、日本を支えさらに発展させるのは一部の政治家や経営者ではありません。国民の一人ひとりが健康であることが、すべての基本ではないかと思うのです。心身ともに健康になる重要なかぎは、食生活に対する考え方を再検討して、美食追求への価値感を正しい方向へ改めることではないでしょうか。今、我々がごちそうという頭に浮かぶものは、肉や卵など動物たんぱく質を代表する食べ物ではないでしょうか。確かにこれらは、肉を大きくすることには役立ちますが体質を強じんにする上ではマイナスの作用をいたします。これについては軽々しく結論は出せませんが、私見として申し述べます。

日本人は元来、主食と副食とを分けて食生活をしてきましたが、欧米でも中国でもそう

した区別はありません。主食は穀類で、副食は野菜や海藻それに一部の魚介、川魚などをとっていました。明治以来しだいに洋風化が進み、肉食を中心とする動物たんぱく質が栄養の主体をなすにいたり、戦後は特にその傾向が強く、身長は伸びましたが体力は低下してきました。これは国家百年の計を誤る、憂慮すべき現象であると思えます。「命は食にあり」といわれますが、現代の日本人の食生活はまちがっています。生命体を食べることが絶対に必要だということです。これは自然界の動物の食生活をみれば、容易にわかります。彼らは生命体を食べるので病気をしませんが、家畜は合成配合飼料という「物質」を食べさせられるために、病気をし奇形児を産みます。自然界の一生物である人間も、この原理を無視して健康が保ててはなりません。欧米人が狩猟生活の中で進化してきたのに対し、東洋民族の日本人は、農耕生活を通して生きてきました。従って、欧米人の腸は太くて短く、反対に日本人の腸は細くて長いのです。これは、肉食動物と草食動物の違いに似ておりますから、食生活の洋風化は必ずしも良い傾向ではなく、むしろ日本民族滅亡の道をたどることになりはしないかと心配です。

今年はオリンピックの年です。日本代表がひのき舞台で活躍することを期待しています。サッカーのように短距離のはやさと耐久力を必要とする競技では、たゆまざる練習に加えて、食生活のあり方が大切であると考えます。

新年にあたり、サッカーに志す球友の皆様、に所懐の一端を申し上げ、サッカー界の発展と皆様方のご健康を、心からお祈りする次第です。

51年の抱負

神戸市協会理事長 一北 四郎



50年4月に前理事長の加藤先生より大任を引き継ぎ、各種事業を順調に運営できております。加盟団体の皆様ならびに協会役員の方々の御心と心より感謝いたしております。天津市青年友好サッカー大会と五大市体育大会が同時に開催された7月は、どうなることかと心配もいたしましたが、暖かなご支援をいただいで、親善友好の実をあげることができました。

神戸市協会として、今年とくに力を入れたことは次の六つです。

1. 指導者の養成と研修
2. 審判員と大会役員の育成
3. 競技場の整備と増設運動
4. 優秀選手の表彰
5. 選抜チームの常設と練習会の開催
6. ニュースの発行と記録の整理および保存

これらについて、もう少し具体的に述べてみます。

1. 少年サッカー指導者講習会を今後も続けながら、修了者の研修と親睦、情報の交換をどうし行いたいと思います。特に、少年の指導では将来有望な選手を見出し、神戸市の指導者が協力して育てることが大切でありましょう。

2. 加盟チームが増大し、大会が大規模になると、運営に当たる審判員と役員が不足します。社会人リーグでは必ず3名の審判員を登録するよう義務づけられていますが、少年団、中

学、高校では、一部の先生方に大きな負担をかけているのが実情です。加盟チームが平等に担当するのが望ましい姿なのですが、経験が少ない場合は運営に支障をきたすこともあります。まして審判となれば、だれにでもできるものではありません。そこで、審判員や大会役員をお願いする方々には、その努力に報いることのできる対策を考えていきます。

3. 現在使用できる競技場は、中央球技場、御崎サブグラウンドそれに磯上運動場がありますが、増大する試合数をさばき切れなくなっております。しかも、これらのグラウンドは、更衣室や水道施設等も十分とはいえません。競技場の整備はむずかしい問題ですが、早急に解決できるよう努力していきたいと思っております。なお増設については、市内の交通の便のよい所にグラウンドを確保するのは不可能でしょう。神戸市では裏六甲や西神戸地区に運動公園を整備する計画があるようですが、緑に囲まれたサッカー場の建設要求を地道に進めたいものです。一方、学校や企業の施設の借用も貴重です。飲み物のあきかん、たばこのすいがらなどの後始末は、今まで以上に協力をお願いいたします。

4. 優秀選手やフェアプレーヤーを表彰することは、本人が誇りに思うだけでなく、周囲のプレーヤーにより影響を与え、またサッカーにあまり接していない一般の方々が興味を持つことに役立つかもしれません。
5. 各種別あるいは年齢別の選抜チームの常設と、練習会の実施をぜひ実現したいと考えます。成人では県下都市対抗や五大市大会の代表につながり、また少年や中学生の場合は、有望選手を強化育成するためにも必要です。

6. 月刊「神戸のサッカー」の発行も、編集委員の努力で今回で35号を出すことになりました。記事の選択に困るほどたくさんの方の原稿が集まり、うれしい悲鳴をあげています。なお各種大会の結果は、神戸市協会の記録の保存のためにも重要です。大会運営を担当される方は、正確な記録を作って協会事務局とニュース編集委員会へ送ってください。



がんばれ神戸高・前列右から2人目が八城監督

県代表に神戸高 高校サッカー 1回戦 対米子高

全国高校選手権大会が正月3日より、大阪長居競技場とうづぼサッカー場で開催される。兵庫県代表は2年ぶり24回目の神戸高。参加29チームの中で最多出場をほこる。国体選抜チームのエース桜木や、八井田、柴田、林らが元気だけに、活躍を期待したい。

なお、51年度からは東京で開催されることが決定しており、大阪で行われるのは今回が最後の大会となる。

八城監督の語

今年のチームは、これまでと違って得点力はまだあまですが、守備にやや不安があります。県大会が終わったあとは自主練習で故障者の手当てをやり、12月中旬以降はBKのクリア、FWとHBのコンビを中心に鍛えました。一昨年の大会では、試合前になって体の不調を訴える者が多く、スタミナ不足で失敗しましたので、今年は特に、コンディショニングに注意していこうと思います。1回戦は米子工ですが、どのチームと対戦しても、ベストを尽くすだけです。(談)

全国高校選手権大会組み合わせ

本郷(東京)	⑤長	9.20	⑥長	9.20
遠野(北奥羽)	④う	12.50	⑤長	9.20
大分工(東九州)	④う	12.50	⑤長	9.20
山口(西中国)	④う	14.50	⑤長	11.05
金沢桜ヶ丘(北陸)	④う	14.50	⑤長	11.05
摂津(大阪)	④長	11.20	⑤長	11.05
愛知(愛知)	④長	11.20	⑤長	11.05
仙台育英(東北)	④う	9.20	⑤長	12.50
前橋工(北関東)	④う	9.20	⑤長	12.50
福岡商(北九州)	④う	11.05	⑤長	11.05
徳島商(南四国)	④う	11.05	⑤長	11.05
米子工(東中国)	④う	12.50	⑤長	14.45
神戸(兵庫)	④う	14.45	⑤長	14.05
丸内実(長野)	④う	14.45	⑤長	14.05
浦和南(埼玉)	④う	14.45	⑤長	14.05
日大高(神奈川)	④う	9.20	⑤長	12.50
野村(滋賀)	④長	13.05	⑤長	12.50
紫原商(西九州)	④長	13.05	⑤長	12.50
日大山形(西奥羽)	④長	9.20	⑤う	11.05
上野(三岐)	④長	9.20	⑤う	11.05
巻(北越)	④長	11.05	⑤長	14.45
広島工(広島)	④長	11.05	⑤長	14.45
新室蘭大谷(北海道)	④長	12.50	⑤う	12.50
葦崎(山梨)	④長	14.45	⑤長	14.45
鹿兒島工(南九州)	④長	14.45	⑤長	14.45
八千代(東関東)	④長	14.50	⑤う	14.45
東予工(北四国)	④長	14.50	⑤う	14.45
静岡工(静岡)	④長	14.45	⑤う	14.45

うづぼサッカー場
大阪地下鉄 御堂筋線
本町駅より徒歩5分
長居競技場
大阪地下鉄 御堂筋線あびこ行
長居駅より徒歩10分

生田区下山手通6丁目65 電 078(371)0857
兵庫県庁300m西側